

## 意見の根拠に記事活用

北上・東陵中

説得力のある意見を述べるには、適切な根拠を示すことが必要。北上市の東陵中(中

村匡校長、生徒81人)の2年生は、国語の授業で、プラス日報を使って情報収集し、意見文



意見文を読み合い、納得できた点などを挙げ合う生徒

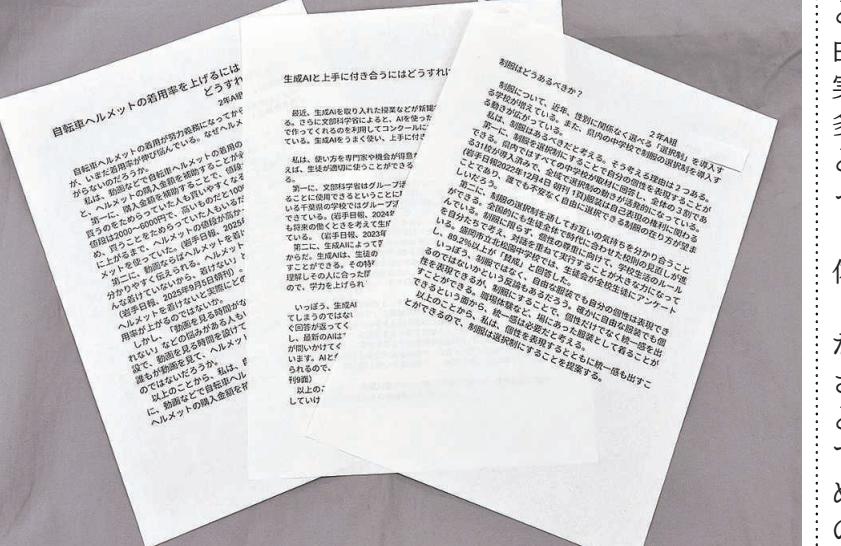
岩手日報社が提供する学校向け新聞活用プログラムです。児童生徒の読解力や情報リテラシーの向上を図るとともに、授業に活用できるコンテンツで先生方をサポートします。

を作成した。生徒は記事を根拠に考えをまとめ、意見を明確に伝える書き方を学んだ。

全5時間の単元「適切な根拠を選んで書こう」で取り組んだ。26日は授業のまとめで、▽制服の在り方▽自転車ヘル

メット着用率向上▽生成人工知能(AI)との付き合い方▽食品ロス削減について、グループごとに仕上げた意見文を読み合った。

文の作成に向け、生徒はプラス日報の「調べる」を使っ



完成した意見文の一部

### 利用できる機能は?

- ①デジタル版紙面の閲覧
- ②過去約20年分の記事検索
- ③新聞記事を題材にしたワークシート
- ④新聞製作ソフトなど。そのほか震災復興やふるさと学習、進路学習をサポートするコンテンツを提供しています。

た。選んだテーマに関する記事を検索。活用できそうなデータを引用し、意見を支える根拠にした。

制服の在り方を「選択制にすべき」とする生徒は、県内の学校の3割が導入しているとのデータを提示。「服装自由化を導入」を支持する人は、実施した学校の生徒の反応、多様性を尊重する国の通知などを理由に挙げて意見文を作った。

読み合った生徒は「自分の体験を入れていて良かった」「私には考えつかなかった」など感想を伝えた。菅原里桜さんは「同じ題材でも、自分とは違う根拠を示す人もいて、多様な角度から考えを深められた。新聞の活用で自分の考えを広めるきっかけになった」とうなずいた。

東陵中

工藤 桜香教諭(27)

意見文を書く根拠として信頼できる情報源が必要と思い、プラス日報の記事検索機能を使った。さまざまな記事を読むことで、社会には多様な見方や考え方があると気付くきっかけになったと思う。今後は、復興教育にも取り入れていきたい。

先生から



東陵中2年

綱川 鳥太朗さん

「朝のスピーチ」の時間で、新聞で学んだことや意見を話している。前よりも新聞の「難しい・堅い」というイメージがなくなってきた。端末で記事を検索できるシステムは、今後のまとめ学習にも活用したい。

生徒から



ご依頼はこれら!

「+日報」についてより詳しく知りたい方は、岩手日報社プラス日報事務局の専用フォームからお問い合わせください。

